

県央県南広域環境組合
第2期ごみ処理施設整備・運営事業

落札者決定基準

令和3年9月

県央県南広域環境組合

目 次

1.	落札者決定基準の位置付け.....	1
2.	最優秀提案者選定の手順及び方法.....	1
2.1	参加資格審査.....	1
2.2	提案書審査.....	1
2.2.1	基礎審査.....	1
2.2.2	本審査.....	1
2.2.3	総合評価.....	1
2.3	落札者の決定.....	2
2.4	審査等の流れ.....	2
3.	提案書審査の方法.....	3
3.1	基礎審査.....	3
3.2	本審査の審査項目及び配点.....	3
3.3	非価格要素の点数化方法.....	5
3.4	入札価格の点数化方法.....	5
3.5	総合評価点の算定方法.....	5
3.6	非価格要素の審査項目及び評価ポイント.....	5

1. 落札者決定基準の位置付け

県央県南広域環境組合（以下、「本組合」という。）は、第 2 期ごみ処理施設整備・運営事業（以下、「本事業」という。）について、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成 11 年法律第 117 号。以下、「PFI 法」という。）に準じて、DBO（Design：設計、Build：建設、Operate：運営）方式により実施することとした。

本事業では、設計・建設、運営・維持管理の各業務において、事業者による効率的・効果的なサービスの提供を求めることから、事業者の選定に当たっては、民間のノウハウや創意工夫を総合的に評価して選定することが必要である。従って、価格に加え、設計・建設に関する能力、運営・維持管理に関する能力及び事業の継続性・安定性等を総合的に評価し技術的に最適な者を選定するため、総合評価一般競争入札により募集及び選定を行うものとする。

この落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により最優秀提案者を選定するため、入札参加者から提出された提案書等を客観的に評価するための方法や基準等を示すものであり、入札説明書と一体のものである。

2. 最優秀提案者選定の手順及び方法

最優秀提案者の選定にあたって、次に示した段階ごとに審査する。

2.1 参加資格審査

本組合は、入札参加希望者から提出された参加表明書、資格審査書類について、入札説明書に示す参加資格要件をすべて満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たすことが出来ない入札参加希望者は失格とする。

2.2 提案書審査

本組合は、入札参加者から提出された提案書の内容について、次の項目ごとに審査する。

2.2.1 基礎審査

本組合は、提案書に記載された内容が、3.1 に示す基礎審査項目をすべて満たしていることを確認する。確認の結果、要求性能等をすべて満たす提案書のみ本審査の対象とする。

2.2.2 本審査

基礎審査を通過した提案書について、非価格要素及び価格要素の審査を行う。

県央県南広域環境組合第 2 期ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、基礎審査を通過した提案書について、3.2 に示す方法及び基準により、非価格要素及び価格要素の審査を行う。

2.2.3 総合評価

選定委員会は、本審査による非価格要素及び価格要素の得点を合計し、総合評価点を算定する。総合評価点の最も高い提案を示した入札参加者を最優秀提案者に選定する。

なお、総合評価点の最も高い提案が複数以上ある場合は、価格要素の得点が高い提案を最優秀提案者とする。価格点も同点である場合は、当該入札参加者によりくじで最優秀提案者を決定する。

2.3 落札者の決定

本組合は、選定委員会における審査結果を踏まえ、落札者を決定する。

2.4 審査等の流れ

上記 2-1～2-3 に示した審査等の流れは、図 1 に示すとおりである。

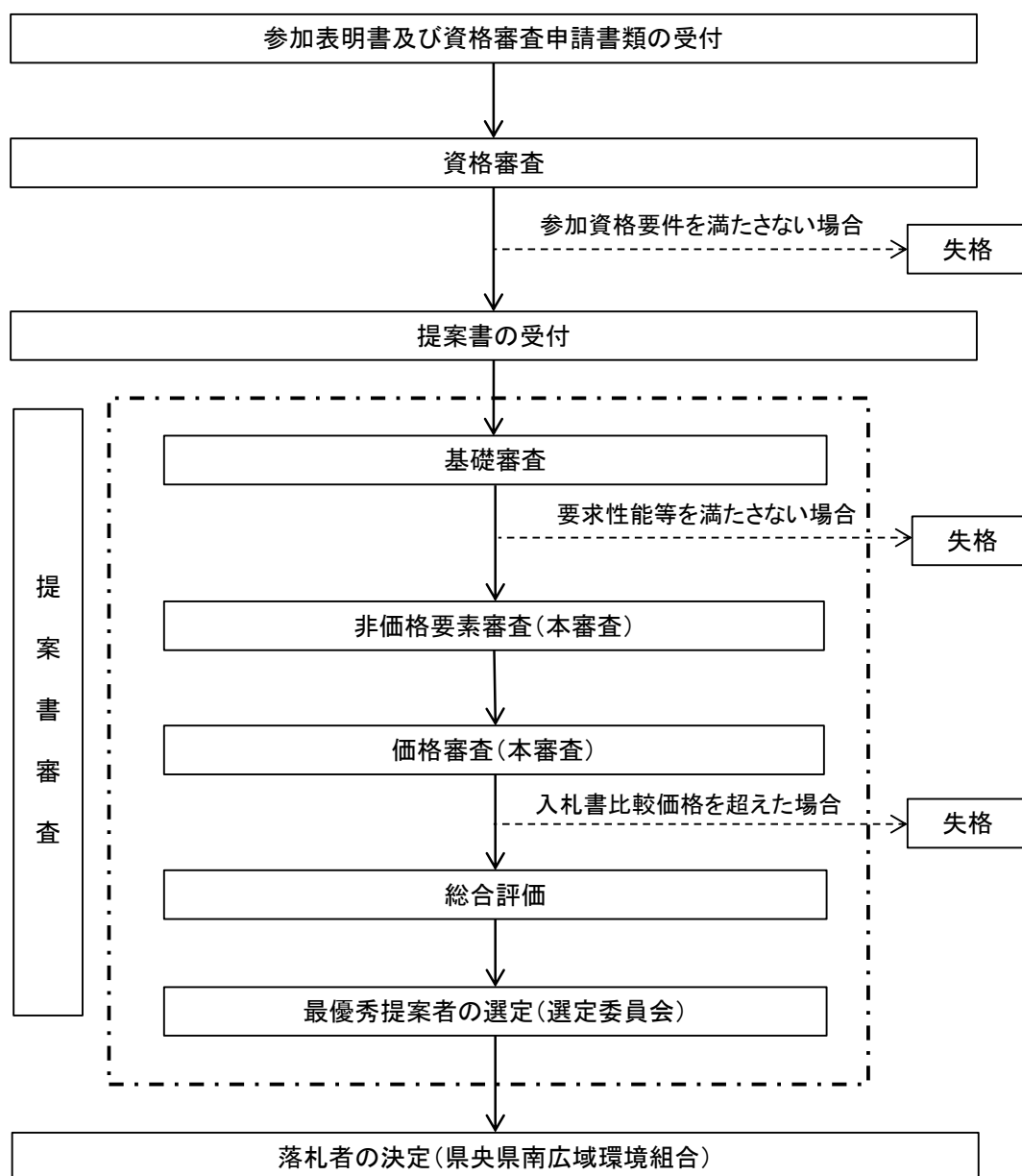


図 1 審査等の流れ

3. 提案書審査の方法

3.1 基礎審査

本組合は、提案書に記載された内容が、次に示す基礎審査項目をすべて満たしていることを確認する。なお、基礎審査項目をすべて満たすことが出来ない入札参加者は失格とする。

- (1) 提案書全体について、同一事項に対する複数の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。
- (2) 提案書が、本組合が示す様式に沿って記載され、必要な項目や枚数制限等に不備がないこと。
- (3) 設計・建設及び運営・維持管理業務に係る提案の内容が要求水準書に示す要求性能等を満たしていること。

3.2 本審査の審査項目及び配点

本審査については、技術要素（非価格要素）及び入札価格（価格要素）の各審査項目について提案内容を点数化し、得点の合計値を総合評価値とする。

なお、各審査項目の配点及び評価の視点については、本組合が本事業に期待する項の必要性又は重要性を勘案して表1に示すとおり設定した。

表1 本審査の審査項目及び配点

審査項目				配点		
大項目	中項目	No.	小項目			
1. ごみを安全かつ安定的・効率的に処理する施設	(1) ごみを安定的・効率的に処理し、資源化するための廃棄物処理システムを構築できる施設	1	安定稼働の信頼性	5点	10点	20点
		2	ごみ量、ごみ質変動への対応	3点		
		3	処理生成物の発生抑制	2点		
	(2) 容易に維持管理でき、長期に亘って安全性を確保できる施設	4	配置動線計画	4点	10点	
		5	主要設備の維持管理性能	2点		
		6	業務実施体制・人員配置計画	2点		
		7	リスク管理・事業収支計画	2点		
2. 環境負荷が小さく地球温暖化対策及び循環型社会形成を推進する施設	(1) 廃棄物処理に伴うエネルギーを最大限に回収し、効率よく利活用できる施設	8	エネルギーの有効活用	4点	8点	10点
		9	脱炭素化への取組み	4点		
	(2) 生活環境の保全、公害防止対策に万全を期する施設	10	公害防止基準遵守への対策	2点	2点	
3. 災害に強い施設	(1) 災害時においても早期に復旧し、通常のごみ処理を継続しつつ災害廃棄物も円滑に処理するための強靱な廃棄物処理システムを構築できる施設	11	災害発生時における施設自体の減災・復旧性能	3点	5点	8点
		12	災害廃棄物の処理性能	2点		
	(2) 災害時に防災活動を支援できる施設	13	災害時の避難・復旧活動への対応	3点	3点	
4. 地域に信頼される施設	(1) 積極的な情報発信や情報公開のもと、地域に理解され、信頼される施設	14	情報発信	3点	3点	10点
	(2) 周辺環境と地域に調和する施設	15	建物意匠、景観	3点	3点	
	(3) 住民が地域の環境問題等について学習できる施設	16	見学者対応・環境学習計画	4点	4点	
5. 経済性に優れているとともに長寿命化を図ることができる施設	(1) 施設整備に係る建設費や資源化を含めた維持管理費等の廃棄物処理全般におけるコストを低減できる施設	17	ライフサイクルコスト低減対策	5点	8点	12点
		18	地域経済への貢献	3点		
	(2) 耐久性に優れ、長寿命化を図ることができる施設	19	施設の耐久設計、保全・延命化計画	4点	4点	
【非価格要素点】計				60点		
【入札価格に関する事項（価格点）】				40点		
合計				100点		

3.3 非価格要素の点数化方法

選定委員会は、提案書に記載された内容について、3.6表3に示す項目ごとに、各委員が表2に示す5段階評価を行い、各委員採点結果の平均点を入札参加者の得点とする。なお、平均値を求める際は、小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

表2 非価格要素の判断基準及び点数化方法

評価	判断基準	点数化方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において要求水準を最低限満たす提案	配点×0.00

3.4 入札価格の点数化方法

入札価格については、次の方法により得点（価格点）を付与する。なお、入札書比較価格を超過した場合は、失格とする。

【算定式】

$$\text{価格点} = \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札書比較価格}} \times 40 \text{ 点}$$

- (1) 得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。
- (2) 定量化限度額は設定していない。

3.5 総合評価点の算定方法

「3.3 非価格要素の点数化方法」、「3.4 入札価格の点数化方法」により算出した各入札参加者の得点から、次に示す算定式により各入札参加者の総合評価点を算出する。

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価点} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{非価格要素点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格点} \end{array} \right)$$

3.6 非価格要素の審査項目及び評価ポイント

非価格要素の審査項目及び評価ポイントは表 3 のとおりである。なお、内容を定量的に評価できるよう、入札参加者は可能な限り具体的な数値を用いて提案すること。

表3 非価格要素の審査項目及び評価ポイント

基本方針		No.	小項目	評価のポイント	配点	
大項目	中項目					
1. ごみを安全かつ安定的・効率的に処理する施設	(1) ごみを安定的・効率的に処理し、資源化するための廃棄物処理システムを構築できる施設	1	安定稼働の信頼性	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ごみ処理システムの信頼性を担保する処理技術や実績を踏まえた設備構成が採用されているか。 ✓ 最新技術の採用等、安定稼働に資する創意工夫のある提案であるか。 	5	20
		2	ごみ量、ごみ質変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ごみ量、ごみ質の変動に対する運転管理面の対策やユーティリティ使用料の増加防止について優れた提案がなされているか。 	3	
		3	処理生成物の発生抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 処理生成物（焼却灰、飛灰）の発生量を抑制できる対策が講じられているか。 	2	
	(2) 容易に維持管理でき、長期に亘って安全性を確保できる施設	4	配置動線計画	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 敷地条件を踏まえた合理的かつ機能的で周辺環境に配慮した施設配置となっているか。また、車両同士や車両と人の動線に安全が確保されているか。 ✓ 多様な搬入・搬出車に対し、安全かつ円滑に計量から投入作業まで行える動線計画であるか。 	4	
		5	主要設備の維持管理性能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 作業性、安全性、メンテナンス性を考慮し、プラントの機器配置において優れた提案がなされているか。 ✓ 将来的に新技術を導入することを想定し、工事等に必要ない動線やスペースの確保等が考慮されているか。 	2	
		6	業務実施体制・人員配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 運営期間を通じて安定した運転を行うための人員配置など実施体制について優れた提案がなされているか。 ✓ 運転員等に係る地元雇用を含む人員の移行計画及び教育計画について、施設の安全稼働への配慮と実効性が期待できる提案か。 	2	
		7	リスク管理・事業収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 運営期間を通じて適正な公共サービスの提供を担保し、健全な事業運営を継続するため、リスク管理及び事業収支計画について優れた提案がなされているか。 	2	
2. 環境負荷が小さく地球温暖化対策及び循環型社会形成を推進する施設	(1) 廃棄物処理に伴うエネルギーを最大限に回収し、効率よく利活用できる施設	8	エネルギーの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 発電や余熱利用施設への熱供給を含む効率的なエネルギー活用について優れた提案がなされているか。 ✓ 省エネルギー化による消費電力の削減や操炉計画を含む売電量最大化のための運転上の創意工夫について評価する。 	4	10
		9	脱炭素化への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 設備・運営面での温室効果ガス排出抑制や脱炭素化への取組みについて優れた提案がなされているか。 ✓ 脱炭素化へ向けた継続的な取組みを想定した社会変化に追従できる施設づくりや運営計画の提案を優位に評価する。 	4	
	(2) 生活環境の保全、公害防止対策に万全を期する施設	10	公害防止基準遵守への対策	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公害防止基準値を確実に遵守するための対策について優れた提案がなされているか。 ✓ 工事騒音や振動等の低減対策並びに周辺交通面への配慮が適切になされているか。 	2	

基本方針		No.	小項目	評価のポイント	配点	
大項目	中項目					
3. 災害に強い施設	(1) 災害時においても早期に復旧し、通常のごみ処理を継続しつつ災害廃棄物も円滑に処理するための強靱な廃棄物処理システムを構築できる施設	11	災害発生時における施設自体の減災・復旧性能	✓ 災害発生時の安全確保対策並びにプラント設備及び建物の耐震性、早期復旧からの自立運転について優れた提案がなされているか。	3	8
		12	災害廃棄物の処理性能	✓ 組合管内における災害廃棄物の受入及び処理方法について優れた提案がなされているか。	2	
	(2) 災害時に防災活動を支援できる施設	13	災害時の避難・復旧活動への対応	✓ 災害時に商用電源遮断や上水道断水が発生した場合でも自立運転により処理を継続し、本組合や構成市と連携しながら地域の避難・復旧活動を支援する工夫について優れた提案がなされているか。	3	
4. 地域に信頼される施設	(1) 積極的な情報発信や情報公開のもと、地域に理解され、信頼される施設	14	情報発信	✓ 事業期間（整備期間含む）を通じた現地やホームページ等での情報発信の工夫について評価する。 ✓ 公害監視データ、受入状況、処理状況及び混雑状況等の運営状況全般について IoT 技術等を活用した情報発信の方法について優れた提案がなされているか。	3	10
	(2) 周辺環境と地域に調和する施設	15	建物意匠、景観	✓ 自然景観や地域景観と調和した建物意匠、色彩計画、外構計画等について優れた提案がなされているか。 ✓ 長年に亘って美観を保持するための対応策や工夫がなされているか。	3	
	(3) 住民が地域の環境問題等について学習できる施設	16	見学者対応・環境学習計画	✓ 子供、高齢者、障がい者等、見学者に配慮した環境学習プログラム、見学ルート、引率・説明手順、見学窓の配置等について評価する。 ✓ 見学設備及び環境学習プログラムに対する社会の変化に即応した対処や方策、陳腐化防止（設備更新等）策について評価する。	4	
5. 経済性に優れていても長寿命を図ることができる施設	(1) 施設整備に係る建設費や資源化を含めた維持管理費等の廃棄物処理全般におけるコストを低減できる施設	17	ライフサイクルコスト低減対策	✓ 運営期間の 20 年間だけでなく、施設を 30 年間程度使用することについてのライフサイクルコストの低減対策がなされているか。	5	12
		18	地域経済への貢献	✓ 整備・運営段階における地元（構成市内）企業の活用及び資材の調達など、地域発注額の増大及び地元人材の雇用について優れた提案がなされているか。	3	
	(2) 耐久性に優れ、長寿命化を図ることができる施設	19	施設の耐久設計、保全・延命化計画	✓ 30 年間程度の稼働が可能な長寿命化対策に対し、設計・建設面において優れた提案がなされているか。 ✓ スtockマネジメントの考え方を踏まえ、30 年間程度の稼働が可能な合理的な維持管理計画がなされているか。 ✓ 事業終了後の引渡し計画について優れた提案がなされているか。	4	
非価格点合計					60	